

令和6年度 放課後等デイサービス青い鳥 従業者アンケート

実施期間 令和7年1月

	チェック項目	はい	どちらもしらない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	改善点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8				
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1		・職員が足りないと感じる時間帯がある。 ・送迎時間等工夫しながら、計画を立てて支援を行っている。	・不足を感じる時間帯について、安全面に配慮して職員配置を行い支援にあたります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8			・視覚化で分かりやすいようにしている。 ・活動内容に合わせ、部屋を分けて行っている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8				
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8				
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8				
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8				
	9 評価結果を公表（ホームページ等）し業務改善につなげているか。	8				
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8			・積極的に研修を取り入れている。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8				
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	8				
	13 個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8				
	14 個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1		・新しい職員への共有がより必要と感じる。	・支援計画を職員全体に周知し、共通理解のもと支援を行います。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8				
	16 個別支援計画には、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8				

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	改善点
適切な 支援の 提供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1		・作成されてから確認することが多い。	・全職員がプログラムの立案に参画できるように時間を設定します。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1		・長期休みや土曜日のプログラムが固定化しているように感じる。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	8				
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1		・職員の勤務時間にずれがあるので、工夫しながら行っている。	
	21 支援終了後には、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1		・職員の勤務時間の違いによって全員とはいえないが、翌日には必ず情報を共有している。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8				
	23 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8				
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動*」を複数組み合わせる支援を行っているか。 *自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供	8				
25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8					
関係機 関や保 護者 との 連 携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8				
	27 地域の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8				
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8				
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8				
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8				
	31 関係機関と連携を図り、必要に応じて助言や研修を受ける機会を設けているか。	8				
	32 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8			・こども部会に参加している。	
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8				
34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラムや家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8					

	チェック項目	はい	どちらとも いい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	改善点
保護者への説明等	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8				
	36 個別支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8				
	37 個別支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者からの同意を得ているか。	8				
	38 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8				
	39 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8				
	40 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8				
	41 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8				
	42 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8				
非常時等の対応	44 危機管理マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8				
	45 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8				
	46 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8			・てんかん発作時の対応マニュアルを職員間で共有している。	
	47 アレルギーのある子どもについて、対応がとれているか。	8			・アレルギーを把握するための一覧表を作成している。 ・エピペンの使用方法について研修を実施している。	
	48 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			・年間計画を立てて行っている。	
	49 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			・外出先からもご家族に連絡をとれるよう携帯電話を所持している。 ・避難訓練を月1回実施（おたよりに掲載）	
	50 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8				
	51 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8				
52 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	8					